



建築作品部門

まちづくり全般

スカイテラス狭山
(総合デザイン監修)

狭山らしいまちづくり

狭山らしさの三要素を「緑・坂・眺」に整理した。高低差を活かし、眺望を活かし、回遊と賑わいの駅前空間を目指す方向が導きだされた。敷地は大きく工事は多岐にわたる。各種建築工事や駅前広場やデッキなどの土木工事、市民広場など外構造園工事、照明、色彩、サイン、アートなどの環境デザインが並走する複雑な事業であり、各々が分離発注されるのでちぐはぐなデザインに陥りやすい。そこで「デザインガイドライン」を策定し「デザイン調整会議」議長としてデザイン調整を行った。

劇場型の駅前空間整備

改札口をでると正面に入間川と秩父連山の大パノラマが広がる。駅前交通広場を取り囲むようにデッキが周回し、商業棟も住宅棟も市施設棟もすべてが広場＝舞台を見下ろす関係に配置されている。デッキと建物全体が客席なのだ。有名な七夕祭りはもちろん、年間を通じて駅前広場が人々の憩いの空間に早変わりする。

都市デザイン調整

本事例は、部門別に発注され個別に実施されてきた業務を一本化して統一のとれたまちなみを実現する試みであり、「デザイン調整」という手法が有効であることを実証したといえる。全国の類似の市街地整備においても、同様の挑戦が期待される。



南條洋雄

株式会社南條設計室
JIAフェロー会員

東京大学工学部都市工学科卒。
1975年よりプラジルにて、建築設計や都市計画・開発プロジェクトに参加。
1985年帰国後、南條設計室設立。
集合住宅の設計やデザイン監修に多くの実績を持つ一方、全国のまちづくりや都市環境デザインに従事し現在に至る。
代表作はウェルシティ横須賀、スカイテラス狭山、オアゼ芝浦他。
著書に「日本の街を美しくする(共著)」「ボッサ・ノーヴァな建築考」他。
JIA渋谷地域会代表。